

特別養護老人ホーム愛の園で実地研修をされる皆さんへ

《はじめに》

皆さんの実地研修の受入れは、学校・団体等と予め交わした契約に基づき、学校・団体等と愛の園が作成する研修計画と受入マニュアルに沿って行われます。実地研修の意義を十分理解し、意味のある機会となるよう努力してください。

愛の園は利用する方々にとっての生活の場であり、教育機関ではありません。ましてご利用者の方々は皆さんの教材ではありません。したがって、愛の園はご利用者のご理解とご協力のもとに、皆さんに高齢者介護の実務を見学・体験する機会を提供しますが、実地研修は皆さん自身が主体的に進めていただきます。実地研修とは実務を通して自分の努力で学ぶものだということを忘れないでください。

しかし、実地研修をお受けする以上、皆さんにとって効果的な教育機会を提供できるよう、できる限りの対応をさせていただきます。どのようなことでも受入担当者や職員に気軽に尋ねてください。

《研修生の心得》

1. 実地研修期間中は、研修生といえどもご利用者・そのご家族・外部の方からは愛の園の職員として見られることがあります。愛の園のイメージを損なう言動は厳に謹んでください。
2. ご利用者には最大限の敬意を払って接してください。戦争を経験しながらも今日の社会の礎を築いた方々は、少なくとも皆さんよりもはるかに尊敬に値する方々であることを理解してください。
3. ご利用者は愛の園の大切なお客様であり、不愉快な思いをさせることはできません。実地研修を義務感で行う方、研修カリキュラムが納得できない方は事前に申し出てください。ご利用者に直接かかわらない業務を担当していただきます。
4. ご利用者の人権の擁護とプライバシーの保護には最大限の注意を払っていただきます。研修中に知り得たご利用者の個人情報、実地研修終了後も一切口外してはならないことを了解して実地研修に参加してください。
5. ご利用者を「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼ばず、姓に「さん」をつけて呼んでください。職員が親しみを込めてお名前や愛称を呼ぶこともあります。ご利用者の背景を知らず、また基本的な人間関係のできていない皆さんは必ず「さん付け」で呼んでください。
6. 誰に対してもその日初めて顔を合わせる時は、午前中は「おはようございます」、午後は「こんにちは」と爽やかに挨拶してください。基本的な挨拶やコミュニケーションができない方は研修生として受け入れることはできません。

7. 実地研修中にメモをとっても構いませんが、ご利用者に見られないところで行ってください。
8. 正当な理由がなく実地研修を欠席した場合や、研修生としてふさわしくないと判断した場合等は、直ちに実地研修を中止します。また、正当な理由のない遅刻や、実地研修に必要な服装・物品を忘れた場合はその日の実地研修はできません。
9. デイサービスセンター、居宅介護支援事業所で実地研修する際、在宅高齢者の自宅や関係機関・団体等を訪問する場合があります。TPO をわきまえた訪問にふさわしい服装を用意していただきます。
10. 実習初日は原則として午前 8 時 30 分までに愛の園ロビーに集合して待機してください。

《持ち物・服装、注意事項等》

1. 介護・介助を目的とした実地研修では、上履き(底の柔らかい運動靴)、動きやすく汚れてもよい服装、入浴介助時の T シャツ・ショートパンツ、エプロン、筆記用具、実習ノート等を用意していただきます。詳細はオリエンテーションで指示します。近隣に飲食店等はありませんのでお弁当を用意してください。
2. 更衣・休憩・宿泊は館内の宿泊室(2 階・3 階)を指定しますので利用してください。実地研修期間中の宿泊を希望する場合は事前に申し出てください。(1 泊 1,000 円)
3. 定められた場所以外での喫煙は厳禁です。
4. 自動車で来園する方は職員駐車場を利用してください。自転車・オートバイを利用する方は駐輪場に整然と駐輪してください。
5. その他わからないことは遠慮なく実地研修指導者に質問してください。

《おわりに》

愛の園では、限られた実地研修をより深めていただくため、実習前に 2～3 日程度のボランティア活動をお奨めしています。希望する方は受入担当者までご連絡ください。

ご利用者にも協力していただき、せっかくあなたのために用意される学びの機会なので、一生懸命努力して価値あるものとしてください。気持ちと身体を良好に保ち、明るく積極的に利用者や職員と接して、実りある実習とされるよう期待しています。